日本二輪車普及安全協会
2020 アンバサダー **梅本まどか**の

安全運転 No.1

第5回 これであなたもグッドライダー!

マナーアップのポイント教えます

操作やバイクの扱いがスムーズで、マナーのいいライダーってカッコいいですよね! 実は、皆さんも、ちょっと意識を変えるだけで、こうした「グッドライダー」になれるのです! 今回はそんなマナーアップのポイントを学んでいきましょう!

PHOTO:松川 忍

マナーUPポイント 1 周囲への気配りと思いやり

冷静な状況判断と譲り合いの気持ちが大切

上手なライダーほど運転に余裕があるのが見て分かるもの。この「余裕」を生みだす大きなポイントが的確な状況判断。周囲に気を配り、冷静に状況を把握できるから、落ち着いたスマートな運転ができるのです。実はこれ、いつもより少し速度を落としたり、しっかり周囲を見渡すよう普段から意識するだけで大きく向上するのです! 余裕があって、歩行者や周囲の車両に対する譲り合いの気持ちを持てるのがスマートなライダーですよ!

対向車の動きにも目を配り、突然の右折や進路変更など、不測の事態にも余裕を持って対処できるようにしておきましょう。

横断歩道では歩行者優先。手前から早めにスローダウンして、横断を優先する意思表示をしてあげるとスマートです。

見通しの悪い交差点では歩行者や車両の飛び出しも多いもの。いつでも対応できるよう、しっかり減速しましょう。

マナーUPポイント2 意思が周囲に伝わる操作

まわりから「危ないなぁ」と思われる運転というのは、たいがい急な操作が原因。早めにウインカーを出す、急ブレーキは極力避ける、進路変更前に周囲をしっかり目視するなど、ライダーの意思がまわりの車両にきちんと伝わるような運転をすることも、スムーズな運転やマナーを向上させるポイントのひとつです。進路を譲ってもらったときは会釈をするなど、お礼の気持ちを伝えるとよりスマートですよ。

合流や進路変更の際は早めにウインカーを出し、周囲にしっかりアピール。合流先の車線の流れを妨げないよう注意するのも忘れずに。

ヘッドライトは常時点灯、車間距離をしっかり取る、四輪車の死角に入らない、など、周囲に「見られる」運転を心がけるのが大切です。

9月11日～30日は 二輪車安全運転推進運動!

毎年9月に開催されるのが、二輪車安全運転推進運動。ライダーに「交通ルールの遵守、マナーアップ」を重点とした安全運転の指導を全国的に展開して、二輪車の交通事故防止を図る運動で、今回が45回目の開催となる。今年のスローガンは「ヘルメット あごひも しっかりしめて プロテクターで胸部を守ろう」。正しい方法でヘルメットやプロテクターを装着して、しっかり自分の身を守ろう、というものだ。これを機に、もう一度安全装備について見直してみよう!

楽しみながらマナーアップ!「ジャパンライダーズ検定」

クイズ形式で、楽しみながらマナーについて学べるのが「ジャパンライダーズ検定」。様々なシーンから出題される全10問の検定で、連続正解が続くとスペシャル演出も! まずはあなたのマナーレベルがどれくらいか、早速挑戦してみましょう!

http://www.japan-riders.jp/kentei.html

時間と心に余裕を持って運転するのがカッコいいライダー

すごく急いでいるように見える運転のバイクをよく見かけます。時間に余裕がないのか、とても焦った運転に見えます。私はこういう走りのバイクを見るといつもショックを受けるし、怖いなぁと思ってしまいます。

時間にも心にも余裕を持って運転できないと事故のリスクも増えてしまいます。やっぱり、余裕がある運転のライダーは動きも滑らかで、周りがよく見えているから歩行者や自転車、車などにも優しく、カッコいいですよね!!

私自身、バイクに乗る時は絶対に時間に余裕を持って出発しますし、焦っている時や心が落ち着かない時は乗らないようにしています。みなさんも、時間と心にゆとりと余裕を持ってバイクライフを楽しんで下さい。

お出かけ前に!「ジャパンライダーズ宣言」

グッドマナー JAPAN RIDERS

ジャパンライダーズ宣言とは、みなさんが安全とマナーについて心がけていることを、SNSに投稿して共有すること。バイクで出かける前に宣言をすることで、いま一度気持ちを引き締めて、安全でマナーのいい走行を心がけてください。認定証発行機能もついていますので、ぜひ一度見てみましょう!

http://www.japan-riders.jp/